



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区

まちかど
政治瓦版



平成28年8月4日号
発行
かながわ
1区支部
編集長
平木 茂

8月号
2016年
No.164

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp)

▶ 検索キーワード「松本純」

国家公安委員会委員長を拝命しました

海用政策・領土問題担当大臣、国土強靱化担当大臣、
消費者及び食品安全担当大臣、防災担当大臣も拝命

松本純はこの度の内閣改造（第3次安倍第2次改造内閣）で、国家公安委員会委員長を拝命しました。またあわせて、海洋政策・領土問題担当大臣、国土強靱化担当大臣、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）、内閣府特命担当大臣（防災）も拝命しました。

先の参議院選挙で、国民の皆様から圧倒的なご支持をいただいた安倍内閣、その一員として、内外のあらゆる危機から国民の皆様をお守りし、わが国の「安全・安心」を実現することが、松本純に課された仕事となりました。

国内の治安を維持し、国際的なテロ問題や東シナ海・南シナ海をめぐる情勢にも対応しなければなりません。また戦後つくられたインフラが老朽化する中、東日本大震災レベルの震災に耐えられる減災都市をつくることも急務です。さらに、食と消費者の安全を守ることも極めて重要な課題になっています。これらの重責をまっとうするため政治生命を賭け、身を引き締めて職務に取り組む所存です。



第3次安倍第2次改造内閣

ふり返れば、私が「政治」に出会ったのは、1958（昭和33）年5月21日。藤山外相の選挙応援演説に来浜した岸信介総理大臣を、桜木町駅前で写真撮影した時のことです。まだ小学生だった私は、カメラを構えながら岸総理の人を惹きつける人間力に圧倒され、いつか自分も政治家を志したいという気持ちが芽生えました。その後、さまざまな人とのご縁から市議員として初当選（横浜市議会中区補欠選挙／1990（平成2）年6月24日執行）、第41回衆議院議員総選挙（1996（平成8）年10月20日執行）で衆議院議員として初当選を果たすことができました。

2008（平成20）年9月24日に誕生した麻生内閣では、内閣官房副長官（衆議院担当・外交専任）をつとめ、麻生総理とともにリーマン・ショックによる金融危機への対応や国内外のさまざまな問題に取り組み、2009（平成21）年からは自民党の副幹事長として党内をまとめ、必要な政策の実現に向けて最大限努力してきました。

この度、拝命した『国民の安全を守る大切な役職』は、松本純の政治信条の一つである『誰もが安心できる社会』の実現に向けたこれまでの取組みを高く評価いただいたものと深く感謝しております。今後もこれまで以上に精進する所存です。皆様のご協力ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

いま地域で
(人・まち・出来事)

現存する日本最古の西洋理髪店

『柴垣理容院』 五代目 柴垣眞太郎さん (中区)

「散切り頭を叩いてみれば文明開化の音がする」……。横浜は日本の文明開化発祥の地、その先駆けとして脚光を浴びたのが理髪業。その記念碑『ザンギリ』は西洋理髪発祥と言われる山下公園にあります。ところが中区初音町には、約150年前（文久2（1862）年）に開業した日本最古の西洋理髪店が今も現役で活躍しています。その名も「柴垣理容院」。店主は五代目、柴垣眞太郎さん。創業者の柴垣永吉さんが中区住吉町に髪結い床を開いたのが横浜開港（1859年）のわずか3年後。以来、散髪業に転じながらも、明治、大正、昭和を通じ横浜に文明開化の香りを伝えてきました。しかし転機は終戦直後に。GHQの命令で現在の地・中区初音町に移転、「伝統」は少しずつ姿を変えてきました。柴垣さんは現在73歳、「おやじは81歳で死ぬ4ヶ月前まで店に出ていました。私も親父を超えるまでハサミはおきたくない」と、変わることをない伝統の心意気を語ってくださいました。



150年の「伝統」を守る柴垣さんご夫婦

【2016年7月】

松本議員の活動記録

14日●厚生労働省説明(経済対策、予算等について)

16日●町屋神社夏季祭礼宵宮・神輿渡御宮入

17日●瀬戸神社天王祭町内巡幸祭

●富岡八幡宮例大祭(祇園舟)

19日●政調幹部会

20日●パシフィコ横浜・横浜グランドインターコンチネンタルホテル開業25周年感謝のついで

21日●国際保健医療戦略特命委員会

●社会保障制度に関する特命委員会・役員会

23日●中区医師会・中区医療センター納涼懇親会

24日●手子神社夏季例大祭神事

26日●政調全体会議・日本経済再生本部・英国の欧州連合離脱に関する緊急特別本部合同会議



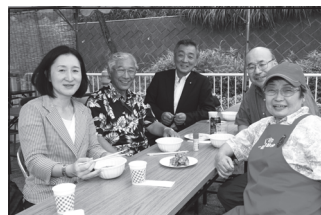
7/15 山純会

●参議院選挙で自民党公認・三原じゅん子、自民党推薦・中西けんじ、公明党公認・自民党推薦・三浦のぶひろ候補の当選についてご報告し、今後の国会の流れについても近況をお伝えしました。



7/16 寺前八幡神社夏季祭礼宵宮・神輿渡御宮入

●寺前町内にある金澤八幡神社の例大祭に伺い、山田一男祭礼委員長や氏子町内の役員の方々に祭礼のお喜びと近況報告。神社境内には大勢の来場者で大にぎわいでした。



7/23 洋台台1街区自治会夏祭り(演芸、模擬店)

●三上勇夫会長より「今回のふるさと祭りは41回目。日本全国からこの地を住まいと求めて来た皆さんのふるさとなる為に始めたふるさと祭りです」との挨拶がありました。



7/24 柴熊野神社例大祭本祭神輿渡御

●お祝いに伺い、祭礼委員長を務める齊田保町内会長や日頃からお世話になっている町内会の方々に例大祭のお喜びを申し上げました。

永田町日記 中国の人工島と仲裁裁判所の仲裁判断

東シナ海をめぐる中国とフィリピンとの間の紛争でハーグにある仲裁裁判所の仲裁判断が出ました。仲裁判断ではフィリピンの主張をほぼ全面的に認めるものとなりました。中国は判断は無効だとして、強い抗議の意思を示しています。それに対して、日本や米国はフィリピンと中国が仲裁判断に従うことを求めています。実はこの問題、中国とフィリピンだけの問題ではありません。中国が建設している人工島は、石油や天然ガスなどを運ぶ海の道（シーレーン）にあり、この海域が封鎖された場合、日本に石油や天然ガスが入ってこなくなるからです。また、人工島の基地が完全に完成すれば、中国の行動により南シナ海全域の緊張が更に高まりかねないからです。だからこそ、中国の人工島建設がアジア安全保障会議（シャングリラダイアログ）の主題になっていたわけです。そして、司法の場にこの判断が委ねられたわけです。

国際社会としては、国際司法の判断を守らなくても良いという事例を認めれば、同様の案件などで秩序を保てなくなります。その意味でも、判断に従う必要があるのです。日本政府としては、中国とフィリピンがこの判断に従うことにより今後、南シナ海における紛争の平和的解決につながることを強く期待しています。（純）

